

試験で使える小技

～ 問題を連想して、違和感があれば「×」とする ～

=====
試験を受ければ、少なくとも何問かは分からない問題が出題されるでしょう。分からない問題は、分からないなりに何とかやりくりして、解答をマークする必要があります。そこで、今回は、お勧めの解き方の1つである「そのまま連想してみる」を紹介します。

この方法は、読んで字のごとく、選択肢の記述内容を「○(正しい・適切である)」だと捉え、その内容のまま、現実世界に落とし込んで連想していくという方法です。そして、連想していく過程で、「現実的ではない」「無理がある」といったような考えが生じれば、解答は「×」であると判断します。この方法は、特に法律系の内容に対しては、効果的だと感じます。

実際例として、「要介護認定の判定の結果、認定されなかった場合には、被保険者証は返還されない」という選択肢でみていきましょう。介護保険に限らず、社会保険の被保険者は、基本的にその保険の被保険者証を持っています。被保険者証は、その保険に加入していることの証ですから、被保険者自身で大切に所持すべきものです。それを踏まえた上で、要介護認定を受けて不認定だった場合に、被保険者証が返還されない世界を想像してみましよう。「不認定の場合には被保険者証を没収」という世界です。恐いですね。ある種のギャンブル的要素を含んでいますね。連想します…

★★★

～連想例～

佐々木さん「心身状態が悪いので、要介護認定を受けたいです。」

市町村職員「佐々木さん。申請書と被保険者証はお持ちですか。」

佐々木さん「申請書はあるのですが、以前、不認定だったので被保険者証はないです。」

市町村職員「没収されたのですね。それは残念です。被保険者証を添えないと要介護認定は受けられません。確実に認定されるときに申請しないと、このようなことが起こるのですよ。」

佐々木さん「再発行はできないのですか？」

市町村職員「そこまで考えた選択肢ではないと思いますよ…」

★★★

と、こんな感じの世界を連想できれば、はっきりと「×」と判断できるでしょう。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku_boboya

 fukusitaisaku_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

